

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

96,572円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	16,192円
交通費(駐車場、燃料代)	10,654円
通信費(折込代、携帯電話代)	69,572円
支出計 20/9/1~20/9/30	96,572円

市政を考える 月刊武松

発行日
20/10/1

第192号

21600部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

酒匂市民集会施設用地活用事業

市有地を大和リース(株)が開発し、2021年秋ドラッグストア開店

配置のポイント

- 敷地中央にあった正門を西側の市道に付け替え
- 敷地を一体化
- 学校側擁壁等は開発者が整備
- 新集会施設は、自治会が整備



図1 酒匂市民集会施設用地活用事業 配置図

この事業は、用地売却でマンション等建設による教育環境悪化を防ぐためと、住民票等を取得できるマルチコピー機設置を目論んだものでした。

■これまでの経緯

2019年度 事業者選定委員会設置し、事業者募集
2020年3月 プロポーザルを経て「大和リース株式会社横浜支店」を優先交渉権者として決定

2020年7月 大和リース株式会社と用地整備の実施や定期借地権設定契約に向けた基本事項を確認するための基本協定書を締結

2020年8月

地域住民対象に説明会を実施

■施設整備の変更点

プロポーザル時の企画提案では、用地内樹木については、全て伐採予定でしたが、大和リース株式会社が緑化事業に取り組んでいることもあり、用地中央のクスノキ2本を残すこととし、その関係で店舗のレイアウト・面積及び駐車場台数(25台から22台)の変更について提案を受けたものです。

■スケジュール

2020年11月 既存建物解体
2021年 3月 開発工事
2021年 6月 新築工事
2021年10月中旬 開店

インフル予防接種60歳以上無料

■インフルエンザと予防接種の目的

インフルエンザは、高齢者や呼吸器、循環器、腎臓に慢性疾患を持つ方、免疫機能が低下している方などがり患した場合、発熱や頭痛などの症状に加え、原疾患の増悪とともに、呼吸器に二次的な細菌感染症を起こしやすくなります。重症化した場合には、入院や死亡の危険が高まります。そのためインフルエンザの発症予防を目的として、予防接種法に基づく定期接種になり、ワクチンの接種が推奨されています。

予防接種後、効果が出るまで概ね2週間程度かかると言われています。インフルエンザの流行が予想される時期とワクチンの有効期間を一致させるには、一般的には10月から12月中旬までにワクチンの接種を済ませておくことが望ましいです。

■対象者

接種日において小田原市に住民登録があり、**年度末年齢が60歳以上**(昭和36年4月1日以前生まれ)の方

■接種期間

2020年10月1日(木)～2021年2月28日(日)

※今冬のインフルエンザ予防接種は、10月1日から、65歳以上の方と60歳以上で心臓やじん臓、呼吸器などに重い障害のある方が優先され、接種が始まります。その他の方は、10月26日以降の接種にご協力ください。

■接種回数

上記接種期間内に限り、1回

■自己負担金額(医療機関で支払う金額)

0円(無料)

■持ち物

- 健康保険証など住所・年齢がわかるもの(全員)
- 接種日において60歳以上65歳未満で、心臓やじん臓、呼吸器などに重い障がいのある方(身体障害者手帳1級程度)は、**身体障害者手帳**
- 年度末年齢が60歳以上(昭和36年4月1日以前生まれ)で、接種日に65歳未満の方は、市から送付される**インフルエンザ接種券**(オレンジ色・A4サイズ)

※インフルエンザ接種券は、9月末に送付します。
※接種日に65歳以上の方は、接種券は不要です。



← 60～64歳インフルエンザ予防接種
取扱医療機関一覧

病院再整備基本構想の検証

小田原市立病院再整備基本構想や建設地の整理内容について、地域医療を提供する機能等が十分に備わっているか等の視点で、外部有識者と意見交換を行いました。

■意見交換の方法

2020年7月～8月、小田原市役所において、市内医療機関の関係者及び病院建築、病院経営、新型コロナウイルス対策の有識者と、個別に、意見交換。

■全体計画に対する意見と対応

新型コロナウイルスについては、感染症患者受入可能な病棟・病室、仮設の感染病棟の設置余地を検討する。

以下に、全体計画のうち建設地を示します。

建設地に対する意見

- 患者や医療従事者のアクセス、救急車搬送時間、空間的な余裕、他病院の診療圏の配慮のため河川氾濫のリスクを考慮しても**現地在最適**ではないか。
- 近くに日本たばこ産業の跡地はあるが、アクセス等の問題、大きな都市計画を練らないと厳しいので**現地建替えて仕方がない**のではないかと。
- 水害時の救急車アクセスや救急車搬送時間の向上に向けて、小田原厚木道路と直結させてはどうか。
- 工事期間中の不便(臨時駐車場の場所等)は、患者が近隣病院に流れて経営が厳しくなる。

建設地に対する対応 下線部が今回追加対応分

- 病院本体は、河川氾濫リスクを考慮した建設計画とする。
- 想定最大規模降雨に伴う浸水や土砂崩れによる主要幹線道路の分断を想定した救急車アクセスや他の災害拠点病院との連携を検討する。
- 利便性の高い臨時駐車場の確保を検討する。

新型コロナウイルス感染症対策のため10月の議会報告会は中止します。

災害時の情報入手方法

- 防災行政無線の放送内容 0120-244-400
- テレビ神奈川のデータ放送 d → マイタウン → 防災気象情報
- 火災などの災害情報 0180-99-4949



公式HP



twitter



facebook



▲北條五代祭りにて